

+

一般競争入札(総合評価落札方式)に関する質問及び回答(Q&A)

最終更新日 2025年 7月2日
独立行政法人情報処理推進機構

件名: 「ASM診断および事例集作成業務」

※ページ数は、2025年6月18日に公開した入札説明書に記載のページ数になります。

項番	資料名	頁(※)	項目名	質問内容	回答内容	回答掲載日
1	入札説明書	—	—	質問の回答はどのタイミングでいただけますか。	IPAのウェブサイトには回答を順次掲載します。 (https://www.ipa.go.jp/choutatsu/nyusatsu/2025/nyusatsu20250618-4.html)	6月26日
2	入札説明書	17	4.2.1	診断においてネットワークセキュリティ製品がアラートを発する可能性のある場合は、日時調整だけではなく、アラートの抑制・対応含めて調整する必要があると考えていますが、その認識で相違ありませんか。	ご認識の通りです。	6月26日
3	入札説明書	18	4.2.2	対策のやり方は簡易報告書とは別資料で示す形でも問題ありませんでしょうか。	診断対象事業者に伝わる形であれば資料別添でも問題ありません。	6月26日
4	入札説明書	18	4.3.1	アンケート回答を集めるための工夫として、診断対象会社ギフトカード(金券類)を渡すのは認められますか。	金券類の配布は認められません。	6月26日
5	入札説明書	17	4.1.1	小規模事業者はあまり公開しているIT資産を保有していないため、ASM診断をしてもほぼ何もでないケースが多いと想定しています。その場合、「何も出ていない」という結果が並ぶことになるが問題ないでしょうか。	そのような結果がデータとして示されることについては問題ありません。	6月26日

6	入札説明書	29	表7	提案書の業務の実施方法等と添付資料について、各項目をどちらの資料に入れるかは提案者が決めていいでしょうか。	はい、決めていただいて結構です。	6月26日
7	入札説明書	29	3.1	提案書の枚数に制限はありますか。	制限はありません。	6月26日
8	入札説明書	17	4.1.1	実証する対象事業者を募集する時に、本事業の背景について説明して問題ないか。	IPAの実証事業として目的等説明してほしい。	6月26日
9	入札説明書	17	4.2.1	診断対象事業者に対して、診断にあたりIPAに情報提供することに承諾を得なければならないのでしょうか。	IPAの事業であることを説明した上で診断やアンケートを実施する形になるため、その中で説明されるものと認識しています。アンケートについては連名での実施を想定しています。	6月26日
10	入札説明書	18	4.4	「脆弱性に対する攻撃シナリオを整理し、事例集を作成する」と記載がありますが、個数として数えることのできる事例は検出される“脆弱性またはリスク”の種類ごとに一つとなりますでしょうか。全体の調査結果からみえた傾向や、業種毎に分析した資産やリスクの傾向分析についても事例集の1つとしてカウントすることは可能でしょうか。事例集は攻撃シナリオのみのものか、傾向分析も含めることができるのかを教えてください。	攻撃シナリオをもとに事例集を作成してください。脆弱性やリスクから想定される攻撃シナリオ毎に事例集を作成します。ただし、ヒアリング結果等から侵入経路や侵入手口が変わり異なる攻撃シナリオになれば1事例とすることも可能となります。傾向分析に関しましては、傾向から攻撃シナリオが想定できればそれに対する事例とすることができます。	7月2日
11						
12						

13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						